



BlueBay
Asset Management

2017年2月15日

リスク・オンとなったエマージング市場



デビッド・ダウセット

パートナー

エマージング債チーム(コ・ヘッド、国債)

シニア・ポートフォリオ・マネジャー

ニュースが比較的落ち着いているなか、ファンダメンタルズ面が市場を主導しています

市場はリスクを求めるモードとなっています。経済指標は広範な経済成長の上昇を示しており、投資家はインフレ率の上昇と金融引き締めに対して差し迫った脅威を感じていないようです。

市場が直面するトップダウン(マクロ面)の問題が、何も解決されていない点については慎重にみえています。米国でのナショナリズムの高まりによる脅威や、米連邦準備制度理事会(FRB)のより積極的な姿勢が、今後数ヶ月のうちに見られると考えています。

トランプ大統領のツイッター上のターゲットとならないように、経常黒字が大きな国は多少の通貨上昇には目をつぶったほうが賢明であると考えられるかもしれません。

エマージング市場においては、相対的に大きな国の中でさほど目立ったニュースはありませんでした。南アフリカではズマ大統領が一般教書演説を行いました。予想どおりかなりの混乱の中、反対派に中断されました。しかし、これが市場に与えた影響はほとんどありませんでした。トルコでは、エルドアン大統領がしつこく利上げのマイナスの影響について言及しましたが、市場はほぼ発言を無視する形となりました。中国の外貨準備高からは資金流出が続いていることが確認されましたが、現段階においては当局が管理できるペースであるとみられます。

他に動きがあった国としてはベネズエラが挙げられます。次回のクーポン支払いをどれだけの余力を持って行えるかに注目が集まります。短期的に債務支払いに関する問題が発生するとは考えていませんが、最近の反発を受けて現在の水準では投資妙味はないと考えています。

短期的には、エマージング市場はさらに上昇する余地があるかもしれませんが、マクロ・ニュースが再び顕在化した際にはすぐにディフェンシブなスタンスに戻す方針です。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
関東財務局長(金商)第1029号
加入協会: 一般社団法人 日本投資顧問業協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点(2017年2月16日)のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分に読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上